

Rep
ort

身近な自然の観察・記録活動 石神井川緑道版

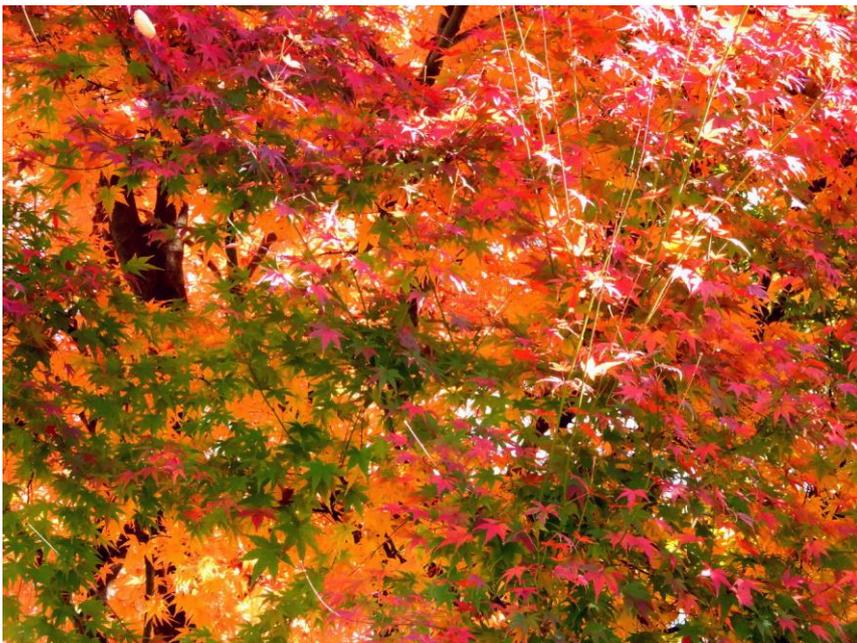
2022.11.25

一人ひとりの自主活動 だれでも参加できます

活動：月2回(第二木曜日・第四金曜日)10:00より(雨天中止)
コース：帝京大学付属病院北詰・御成橋たもと → 金沢橋
問合せ・連絡先：090-8646-9757 木村松夫 com-matchan@hotmail.co.jp

12月、1月の石神井川観察は、12/8(木)、12/23(金)、2023/1/12(木)、1/27(金)
9:30JR 社宅前街路の観察 10:00 帝京大学病院北側の御成橋たもとから再出発

紅黄緑が混じると「錦」になる



11/25の石神井川観察は天候に恵まれて気持ち良く歩けました。紅葉・黄葉も盛りで、とくにイロハモミジ(上)の赤・黄・緑が織りなす「錦」が見事でした。右上からアカメガシワ、ナンキンハゼ、ヤマグワ。黄葉したヤマグワの葉の中にタカサゴユリの実の殻がまだ



残っていました。
←キツタの紅葉ですが、一緒に絡んでいる緑の葉は別種の植物。夏のころから同定ができないまま、「なんだろう？ なんだろう？」の思案が続いています。



ろから同定ができないまま、「なんだろう？ なんだろう？」の思案が続いています。

まだまだ出てくる「**なんだろう？**」の草



前ページのつる植物もそうですが、今年のJR 社宅前の街路は見たこともない植物の出現ラッシュでした。

←幅の広い大型の葉はしなやかで、おひたしにして食べられそうなのですが、???

葉の出始めはアオジソ、しばらくすると



アカジソに変身、しかしとても食べられそうもないごわごわの葉の「怪物シソ」。花が咲きました。やっぱりシソの花ですが、これまたごっつく大型でした。

冬に向かって花終い。

でも、また**咲き始める**ってど~ゆ~こと~???



←白く見えるのは**エノコログサ**の枯れた穂ですが、その脇から青々と新しい花が咲いてきました。右の写真は**メヒシバ**。こちらも枯れた



隣から新鮮な花が伸びてきました↑



←こっちは**ノゲシ**。この草はもはや一年中開花している野草の代表になりました。日当たりの良い場所では満開状態。そのノゲシでも、葉先の棘があたかもオニノゲシのように鋭く針のようにとがっている種が見受けられます。でも、触ってみると柔らかく痛みを感じません。交雑種か???

そして、春の野草が今にも咲きそうな勢いで葉を伸ばしています。写真はその1例、**ヒメオドリコソウ**。

